



園 だ よ り

たかがみねこども園

今年の夏は猛暑というより酷暑が続き、お外での遊びを控えていました。まだまだ暑さの続く毎日ですが、日が落ちるのも早くなったり、とんぼが跳んだり、秋の訪れを感じるようになってきました。



～ 9月の目標 ～

- ☆ 秋の自然に触れ、戸外で元気いっぱい遊ぶ。
- ☆ 運動遊びを通して、十分に体を動かし、体力をつける。

科学遊びは、身の回りにあるものを使ってできる不思議な現象を楽しめる遊びです。子どもたちは「どうして?」「なぜ?」といろいろなことに興味・関心・疑問を持つ子どもたち。何かと何かを混ぜ合わせたら色が変わったり、形が変わったり…。科学遊びには子どもを引き付ける要素がたくさんあります。園でも、アルミホイルにホワイトボード用のペンで描いた絵を水にいれると絵が水に浮くという簡単な実験を行ったり、身近な材料で簡単にできるバスボム（入浴剤）を作ったり、いろいろな遊びを取り入れています。さて、そんな科学遊びの中で、子どもたちに身につくのはどのような力なのでしょうか。

●探究心が育つ

不思議な現象を目の当たりにすることで、「なぜ?」「どうして?」という気持ちが生まれます。この気持ちがものごとを深く考える「探究心」へとつながっていきます。

●問題を解決する力が身につく

実際に自分で科学遊びに取り組んでみたときに、うまくいかないことがあるかもしれません。すると、成功するにはどうしたらいいのか、子ども自身で考えるようになります。試行錯誤しながら取り組むことで、問題解決能力が身につきます。

●豊かな発想力が育まれる

子どもは想像力が豊かです。夢中になって取り組んでいるうちに、新たな発見をしたり自分なりの方法を見つけたりすることもあるでしょう。

家庭でも簡単にできる科学遊び

割れないシャボン玉

- ① 台所用洗剤でシャボン玉を作ります。
- ② 砂糖を入れて混ぜます。

これだけで、割れにくいシャボン玉ができあがります。砂糖を入れると、シャボン玉の膜から水分が蒸発するのを抑えます。